

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 3 0 号											
件 名	新潟市の1兆174億円の莫大な借金を減らし財政の健全化を図ることについて											
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は、昨年度の1兆30億円の借金がさらにふえて、今年度期首では1兆174億円、今年度期末にはさらにふえて1兆268億円の見込みで、莫大な借金を抱える赤字倒産一歩手前の状況になっています。1兆174億円の借金は、毎年100億円返しても102年もかかる莫大な借金です。</p> <p>今年4月1日で、79万7,029人の市民1人当たり128万円、33万8,995世帯の1世帯当たり300万円もの借金です。金利を年0.1%で計算して、毎年10億1,740万円もの利息を支払っていることとなります。</p> <p>今年度期首での財政状況は、市債残高1兆174億円です（財務課資料より）。内訳は、一般会計6,192億円、特別会計61億円、企業会計3,921億円。なお、一般会計は、一般家庭に置きかえるなら生活費に当たります。今年度の一般会計の年間予算が3,922億円で、借金が年間予算をはるかに超える6,192億円で、一般家庭なら破綻です。</p> <p>また、基金残高は、平成19年度の315億円から昨年度の2億円を積み増しても、35億円に激減しています。この状態から、新潟市が、平成18年に財政破綻した夕張市に続く第二の夕張市に陥らないために、一日も早い財政の健全化を必要とします。</p> <p>参考：過年度末の市債残高の推移（新潟市ホームページから）</p> <table border="0"> <tr> <td>平成21年度8,305億円</td> <td>平成26年度9,617億円</td> </tr> <tr> <td>平成22年度8,469億円</td> <td>平成27年度9,737億円</td> </tr> <tr> <td>平成23年度8,785億円</td> <td>平成28年度9,959億円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度9,042億円</td> <td>平成29年度1兆30億円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度9,343億円</td> <td>平成30年度1兆174億円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>		平成21年度8,305億円	平成26年度9,617億円	平成22年度8,469億円	平成27年度9,737億円	平成23年度8,785億円	平成28年度9,959億円	平成24年度9,042億円	平成29年度1兆30億円	平成25年度9,343億円	平成30年度1兆174億円
平成21年度8,305億円	平成26年度9,617億円											
平成22年度8,469億円	平成27年度9,737億円											
平成23年度8,785億円	平成28年度9,959億円											
平成24年度9,042億円	平成29年度1兆30億円											
平成25年度9,343億円	平成30年度1兆174億円											
付 託 年月日 委員会	令和元年9月26日	第1項 第2項 } 総務常任委員会										
受 理	令和元年9月17日	第333号										

今年度、花角新潟県知事が、県財政の危機的状況を説明するとともに、みずから身を切る努力をして、県財政の立て直しに取り組んでいることが、新潟日報紙上に掲載されています。

新潟市も花角新潟県知事を見習って、中原市長をトップとする行政と、行政のチェック機能としての議会、議員が、その責任を果たして、ともに協力して早急に財政の健全化を図ることを求め、以下について陳情いたします。

記

- 1 新潟市民からの提案も受け入れ、新潟市のあらゆる分野の事業の総点検と見直しをして、財政の健全化を図ること。
- 2 必要により、市長を初めとする市の幹部と特別職職員に、さらには全職員にも財源確保に対して身を切る協力を求め、破綻新潟市にならないように、財政の健全化を図ること。